

うちこ

vol.10

平成26年8月発行

# 議会だより

## もくじ

### 26年度第1回定例会

- ◎平成26年度補正予算・・・・・・・・2～3
- ◎議決結果一覧・・・・・・・・3
- ◎一般質問・・・・・・・・4～12
- ◎委員会ニュース・・・・・・・・13



# 内子町議会 6月定例会

## 26年度一般会計

2億7,438万1千円を追加し総額101億4,438万1千円に。  
(前年同期比6.2%の増額)

平成26年6月定例会は、6月19日に招集され、23日までの5日間の会期で開催しました。

町長提出の12議案を審議の結果いずれも原案どおり可決しました。

さらに議会提案として、常任委員会を3から2にする内子町議会委員会条例の改正を行い、組織改正を行いました。

また、3月定例会から文教厚生常任委員会での継続審査となっていた「さらなる年金削減の中止を求める請願について」は不採択とし、「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願」は採択し、国に対し意見書を提出しました。可決した一般会計補正予算の主なものは次のとおりです。

**25年度一般会計補正予算(第8号) 3月31日町長専決**  
総務費 快適環境整備基金積立金 3億5100万円

**問** 今回の積立てと合わせ4億6800万円になるが、具体的な使い道は何か。

**答** 当面この基金で施設整備の予定はない。必要に応じ使用する。

する。

**問** 目的が具体的でない。これほどの積立金が必要か。他にもわけても良いのではないか。

**答** 内子町が掲げているエコロジータウンにマッチした公共施設を整備する際にこの基金を活用していく。

**問** 公共施設整備基金と同じような目的、使い道なら一本化出来るのではないか。

**答** まったく同じではないが、今後検討する。

**26年度一般会計補正予算(第1号)**

総務費 町有林整備委託費(大瀬小学校建築用材伐採搬出) 850万円

民生費 子育てサポートブック作成委託費 356万4千円

農林水産業費 刀根柿脱渋施設整備費補助 1407万4千円

キウイフルーツかいよう病緊急対策費 42万円

県単土地改良事業費(稲月地区農道) 1300万円

土木費 町道整備事業費(長田小学校線ほか3線) 1億239万4千円

がけ崩れ防災事業費(上宿間B地区ほか4地区) 6200万円

公営住宅(小田中組団地)設計委託、解体、敷地造成工事費 3519万6千円

消防費 防災行政無線基本設計業務委託費 397万5千円

**問** 酒蔵ツーリズム事業とは。

**答** 日本酒造組合中央会で酒蔵モニターツアーを実施している講師を招き、内子の酒蔵訪問、酒と食の体験、酒蔵ツーリズムの魅力や成功事例の講義を受けるもので、講師等の旅費、宿泊費等 49万5千円を予算化する。

**問** がけ崩れ防災事業の要望がどれくらい残っているか。

**答** 約13か所程度把握している。平成27年度、29年度に県単がけ防で取り組みたい。

**問** 「内子の食」創造発信事業120万円予算化しているが、昨年度と同じく名工芸に委託するのか。

**答** 25年度の食開発事業と同様に県内の料理人が所属する名工芸に委託する。成果をホームページに掲載していく経費も含む。

**問** 公営住宅中組団地の建替えについて、検討過程と将来計画は。

**答** 公営住宅の長寿命化計画の中で建替え計画をし、中組団地については地元自治会に説明、提案し、意向を聞いた中で進めている。27年度に2戸1棟で3棟6戸建設する予定。

**問** 鳥獣被害防止対策事業補助231万2千円の事業内容は。

**答** 今回の補正額を加えた781万2千円の予算で、4集落、35戸、農地40畝、10kmをワイヤーメッシュの柵で囲う。全額国の費用。

### 条例改正

【内子町健康保険税条例の一部を改正する条例】

①世帯の合計所得が一定の基準以下の場合に国保税が5割、2割軽減される世帯の対象範囲を拡大する。  
②後期高齢者医療支援分14万円から16万円に、介護保険分12万円から14万円に課税限度額を引き上げ、医療保険分51万円は据え置く。

**問** 限度額引上げで税額はいく

ら増えるのか。軽減世帯の対象が増えて、税額が減る世帯数と減税額は。

**答** 引上げで50万円程度の税額増。軽減世帯の増加262世帯、約1000万円の税額減と試算している。



内子分庁舎

【内子分庁舎耐震補強改修建築主体工事に係る工事請負契約について】

①契約方法 指名競争入札「簡易型総合評価落札方式（実績確認型）」による契約  
②契約金額 1億8307万円  
③契約相手 内子町内子 株式会社 山本建設 代表取締役 長岡幸男

5月29日に指名業者6社による入札を行い、仮契約をしたので議会の議決を求める。工事は平成26年8月1日から平成27年3月24日まで。落札率89・68%。

## 議決結果一覧

条例の一部改正及び補正予算などを審議し可決しました。

【26年6月定例会】（抜粋）

（議決年月日：平成26年6月19・20日）

- 平成25年度内子町一般会計繰越明許費繰越計算書
- 内子町税条例の一部を改正する条例についての専決処分
- 内子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分
- 平成25年度内子町一般会計補正予算（第8号）の専決処分
- 内子町子育て支援センター条例の一部改正
- 内子町道路線の認定
- 第16号内子分庁舎耐震補強改修建築主体

- 工事に係る工事請負契約
- 平成26年度内子町一般会計補正予算（第1号）
- 平成26年度内子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成26年度内子町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成26年度内子町水道事業会計補正予算（第1号）
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

# 一般質問

◆才野 俊夫 議員



## 【コンクリート落下】

問 5月にJR予讃線内子駅付近高架橋からコンクリート片が11㍎下の田んぼに落下した。JR四国の対応は。

総務課長

6月11日にJRから「今回剥がれた箇所を含む83㍎に5月29日までに剥落防止ネットの設置工事を完了した。今回の緊急点検で危険と判断した2つの内子高架橋において6月中にネットを設置する。それ以外の箇所も検査の周期2年を6カ月に短縮し必要である箇所にネットを設置する。」との説明を受けた。



JR高架剥落防止ネット

問 JR四国に対する町の鉄道施設（内子高架）維持管理補助金580万円の内容は。

総務課長

鉄道施設総合安全対策事業費補助の地方負担分で、JR、国、地方が3分の1ずつ、地方分を県と内子町が2分の1ずつの負担を求められている。内子高架の改修計画は、平成26年度から33年度、総延長1千8百93㍎、総事業費5億7千百万円となっており、内子町の負担総額は9千5百万円余となる。26年度は115㍎、負担額580万円。

問 補助金の支出を停止すべきではないか。

町長

26年度分については、今回の事項を踏まえ、再発防止策も含めよく精査した上で執行することとなる。27年度以降分については、同じ立場にある伊予市、そして県、国、JRと、白紙から協議し直すことも含め対応していく。

## 【鳴らなかつた防災無線】

問 3月14日未明に発生した伊予灘地震の際、旧内子地区だけ町内防災無線線による緊急放送がなかつたのはなぜか。

総務課長

内子分庁にある防災無線の放送設備が地震発生時、コンピュータの一部に不具合が生じ旧内子地区のみ放送できなかった。その日に原因を究明し復旧を行った。今後、老朽化対策としてデジタル化も含め設備の更新を検討する。

問 防災士資格取得対策とネットワーク体制、組織の構築を図るべきではないか。

総務課長

現在、防災士の資格取得者は

47名。防災士ネットワークを構築し、学習会や防災訓練等に参加し、自主防災組織や地域で活躍できる体制にしている。

## 【評価された環境行政】

問 環境自治体会議ニセコ会議で採択されたニセコ会議宣言「人口減少や長寿化をチャンスと捉え、未来志向でまちづくりに取り組む」といった方策を具体的に推進すべきではないか。

町長

各自治会の地域づくり計画書の作成を通じて、自立・自主の地域社会を作る活動が展開されており、イターナー者の迎え入れ、地域おこし協力隊による新しい風を入れる取組みも行っている。こういった活動の中に環境の視点を取り入れ、26年度に見直す内子町環境基本計画、町総合計画の中に社会動態を見通した施策内容を盛り込んでいく。

問 ニセコ会議で高く評価された内子町の「L.A.S.I.E」の現状と今後、自治会や町民参加をどう構築していくのか。

環境政策室長

第3ステージの第1ステップ



合格は全国で内子町と八王子市である。今後、省エネ、廃棄物の発生抑制、リサイクル、小水力発電など再生可能エネルギーの活用、水辺環境の維持・回復への活動、環境学習会など、自治会、事業者、環境団体、行政が一体となり取り組んでいく。



第22回環境自治体会議二セコ会議

### 【再質問・一問一答】

**問** 防災士ネットワークを構築するスケジュールは。

総務課長

現在検討中。

**問** 災害時の避難場所の表示板

等を設置している自治会は、総務課長

八日市と西沖自治会は案内表示がされている。避難場所は内子町防災マップにも掲載しており、各自治会における避難場所はほぼ理解されていると思う。

**問** 観光客を含め来訪者、町民への避難場所の案内板は必要ではないか。

総務課長

自治会、自主防災組織から表示板設置の要望があれば、景観に配慮したもので検討していきたい。

◆森永 和夫 議員



### 【龍王公園を愁う】

**問** 都市公園としての龍王公園のあるべき姿は。

建設デザイン課長

龍王再開発事業は、新町建設計画のシンボル事業として、町民の健康増進、産業振興、交流促進を目的に計画され、龍王公園は、多くの町民が集う憩いの場所であり、観光客との交流及び町民の健康増進につなげて行く都市公園として、地域の活性化・福祉の増進・交流を促進している。

**問** 梅や藤棚の管理、ベンチの改修など今後の取組みは。

建設デザイン課長

町内の造園業者、内子町シルバー人材センターに委託し計画的に管理している。26年度に行う都市公園施設の長寿命化計画の中で、修繕等の対応を考えて行く。

**問** 平成22年にオープンした「オーベルジュ内子」は5年目になるが、宿泊施設の稼働状況が厳しい現状であると思うがどうか。

建設デザイン課長

1、2年目で知名度をアップし、3年目に大幅アップを見込んでいたが、23年に発生した東日本大震災により全国的に景気が後退し、宿泊客が伸び悩ん

だ。海外客を含め大手旅行業者と連携を図るなど宿泊稼働率57%を目標に取り組んでいる。



オーベルジュ内子

**問** 当初予定は、オリエントホテルが24年度にヴィラ棟2棟を建設するとなっている。なぜ整備されていないのか。さらに27年度から29年度に5室の宿泊棟をつくる事になっているが見通しはどうか。この宿泊棟建設場所は21年6月議会でも町有地1千平方メートルを無償貸し付け出来るとしている。現状は。

建設デザイン課長

全般的な売り上げ減少の中で利益率が落ちてきたことから断

念した。更なる経営努力により業績の回復を図り、少しでも早く建設できるよう協議している。

**問** この施設には多額の公費が使われているが、事業者と経営状況についての定期的な協議はしているのか。

オリエントホテル高知との5年間の指定管理が27年3月末日で終了するが、経営状況から将来の見通しはどうか。

**建設デザイン課長**

オリエントホテルから毎年経営状況の報告があり、コスト削減や集客力の向上について、関連施設の連携を図るなどの提案を行っている。社員17名のうち14名が地元採用で今年も新卒社員を採用している。指定管理については経営努力されているので、今後も継続していただけていると思っている。

**問** 1億9600万円余の巨費を投じて建設された「オーベルジュ内子」を内子町の観光戦略の中でどう位置付けているのか。町にどれだけのメリットをもたらしているのか。

**建設デザイン課長**

内子町を周遊する観光における「滞在」に寄与できる重要な施設であり、既存施設にはない、別のクオリティを求める観光客をターゲットとしており、内子町における宿泊施設の選択肢を広げている。雇用や和紙、ローソク、地元食材の使用など一定の経済効果を生んでいる。

### 【熱中症を防げ】

**問** 冷房設備が未整備である立川幼稚園、五十崎幼稚園への早急な設置を求める。

**学校教育課長**

状況により冷房設備の対応をしていく。



内子幼稚園の冷暖房設備

**問** 小中学校での冷房設備に対する考え方は。

**学校教育課長**

学習効率などの教育面、身体発達への影響などの健康面、エネルギー問題や環境問題といった環境面の3つの視点から考える必要がある。学校耐震化が終了する用途ができたら対処していきたい。

### 【再質問・一問一答】

**問** 壊れたままのベンチは撤去するか、早急に改修すべきではないか。

**建設デザイン課長**

ダメなものは撤去し、費用的に可能であれば新しいベンチを置く。第一に安全を考え、早急に対応する。

**問** 以前のように梅まつり、藤まつり、さらには俳句コンクールなど今後の活用方法を考えているか。

**建設デザイン課長**

梅などの管理を十分行い、見ていただけるようなものになれば、オーベルジュ内子において取組みをし、集客にもつなげて行きたい。

**問** 内子のためになる施設として、集客力をいかに高めるか。官民一体となつて結果を出すよう努力をしてほしい。

**町長**

広域の中で内子の観光、あるいは内子の中のオリエントをどう底上げしていくのかということが大事と思っており、随時意見交換はしているので関与できる範囲で関与して、応援していく。

**問** 来年度、五十崎幼稚園、立川幼稚園の冷房設備は設置しないのか。

**学校教育課長**

来年度に五十崎幼稚園は設置したい。立川幼稚園は温度等の状況を見ながら予算要望をしていきたい。

**問** 全国の小中学校では、校庭の芝生化や緑のカーテン、屋上緑化などの取組みをしている事例もある。関係者と協議し快適な学習環境を作っていたきたい。

**教育委員長**

個々の状況を判断し、前向きに検討していきたい。



◆久保 美博 議員



【急げ鳥獣害対策】

問 鳥獣害が深刻な集落で鳥獣害対策に取り組む意欲のある集落を、手挙げ方式で募集し、モデル地区を設置したらどうか。  
産業振興課長

現在鳥獣害対策は、捕獲と防除の2つの観点から実施している。今後とも猟友会による捕獲と地域住民による電気牧柵、ワイヤーメッシュ柵等の被害防除対策を連携させながら内子町全域で一斉に対策を講じていく。

問 現在の獣害対策は持続可能な対策であるのか。

産業振興課長

捕獲や防除については、町単独、また国の補助金等を活用し積極的に対策を行っており、今後とも国、県に対して事業の継続

を訴えていく。

【ジビエで町おこしを】

問 ジビエの魅力、料理への取り組みについて。

産業振興課長

日本ジビエ振興協議会によると「栄養価も高い森の贈り物」とか「グルメにはたまらない人気料理」と紹介されており、前年度に行った「内子うまいもん賞味会」では、シシ肉の竜田揚げが出されるなど研究も行われている。

問 狩猟されたイノシシ肉等の解体、加工、販売までの一貫体系による獣肉処理加工施設の整備の考えは。

産業振興課長

施設の整備で重要なことは「供給と品質の安定」と「安定した販路の確保」であり、先進自治体でも採算性、経営状況は厳しく、様々な課題が多くある。猟友会と協議しながら総合的に検討していく。

【認知症に寄り添い】

問 認知症による徘徊で、行方不明になる問題への取り組みは。

保健福祉課長

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、各介護施設の連携により現状の把握、家族のケア、相談、ショートステイ利用など家族と一緒にやって行方不明者を出さない活動を心がけている。事案が発生した場合は関係機関と早期に連携した対応ができるよう日々協議している。

問 徘徊者を守るネットワークの取り組み状況は。

保健福祉課長

民生委員、見守り推進員と連携したネットワークは構築されている。平成19年から「認知症サポート養成講座」を646名が受講し、地域で支え合う体制づくりを行っている。本年中に地域と関わりの深い事業所と「高齢者見守りネットワーク」を構築していく。

【再質問・一問一答】

問 モデル地区を設置し、関係機関が連携して集落を支える仕組みについてはどうか。

産業振興課長

現在もそれぞれの地域で話し合いがなされ、ワイヤーメッ

シュ柵設置などの対策が講じられている。



ワイヤーメッシュ柵

問2 狩猟免許取得への支援は。産業振興課長

免許取得の補助、講習会等への補助制度は設けている。

問 位置検索サービス、GPS利用への補助はどうか。

保健福祉課長

補助制度については考えていない。

◆宮岡 徳男 議員



【許すな集団的自衛権】

問 閣議決定での集団的自衛権の行使容認についての見解は。

町長 自衛隊の存立根拠は、今まで政府が取ってきた自衛のための必要最小限度の実力という解釈であったと思う。日本の平和主義の考え方は、先の大戦で300万人を超える国民の尊い犠牲と、その反省の上に成り立っている。戦後70年近く続いてきた根幹ともいえる考え方である。尊い自衛隊員の命が犠牲になるかもしれない決定を憲法議論をしないで決定してよいのか。閣議の決定で解釈を変え、関連する法律を改正するということは理解できないところである。日本国憲法の平和主義、国

民主権、基本的人権の尊重というものは基本原則であって、解釈で変えていくことは立憲主義が崩れて行くことになるのではないかと懸念をもっている。慎重な論議が求められる。

問 政府の規制改革会議が正式決定した農業改革の提言による農協改革、農業委員会の見直しについてどう受け止めているか。

町長 時代の変化の中で組織というものには常に革新をし、進化をさせていくことが非常に大事である。要は地域農業の発展、農業の再生産、維持にどういうふうに結び付けて行くのかということが大事だと思っているので、急激に農家の人達が戸惑った、地域農業が変化していくというようなことは決していい方向ではないと思う。

農業委員会会長

改革の提言は、農業委員の選挙制度廃止、人数の半減、過半数を認定農業者から選任するというものである。現在まで農業委員は選挙により農家の代表として選任を受けてきた。地域農業者の信任を得た、農業委員会

の役割は大きく、農地の調整・利用等はもちろん、地域の事情にも精通している。内子町においては選挙による委員20人のうち10人は認定農業者である。担い手が減少する中、地域農業を維持し守っていくためには現在の委員数は不可欠である。

要支援認定者は309名、サービス利用者は208名、うち今回の法改正により、給付事業から支援事業に移る通所介護、訪問介護利用者が119名。移行される事業は、町が行っている地域支援事業の中に位置づけ、これまでどうり既存の事業所の指定や委託によりサービスを行う。

【介護保険を守れ】

問 今年行う介護保険の第6期事業計画の策定作業にあたっての方針は。

保健福祉課長

「町民にやさしい福祉」を基本理念とし、介護支援事業が後退することなく、今後も各種サービスを維持していくことを基本姿勢とする。町内12名の委員による「内子町総合福祉計画策定委員会」において検討を行う。

問 社会問題化している認知症対策を、第6期事業計画にどう反映させるのか。

保健福祉課長

今年度から、軽度な認知症、その予備軍の方を対象に、内子地区をモデル事業として認知症予防運動教室を行う。6期計画の中で認知症対策も検討する。

問 町内の学童保育の現状、問題は。児童福祉法の改正による学童保育の取組みは。

保健福祉課長

内子児童クラブ定員30名で利用者30名、五十崎児童クラブ定員20名で利用者12名。放課後子ども教室として立川児童クラブがある。27年4月からの「子ども・子育て新制度」では大きな改正はなく、引き続き継続して



いく。



内子放課後児童クラブ

## 【下請け業者を守れ】

**問** 昨年に続き、公共工事設計労務単価が引き上げられている。町内建設技能労働者への支払い状況、職種ごとの労務単価は。

**建設デザイン課長**

25年度当初と比べ、内子町発注工事における主要職種の単価は、特殊作業員5.8割、普通作業員6.8割、大工8.2割、配管工7.7割の引き上げが行われている。

**問** この2年間下請け労務単価はどう変化しているか。

**建設デザイン課長**

国土交通省が25年7月に実施した下請取引等実態調査によると、技能労働者の賃金を引き上げた企業は36.6割にとどまっている。内子町において調査はしていないが、下請金額や下請業者の見積等をみると若干上がっていると思う。

**問** 社会保険の加入状況は。

**建設デザイン課長**

入札参加資格の条件として社会保険の加入を促進している。若干の未加入業者がいるが、小規模業者の下請け排除にもつながるため慎重に対処していく。

**問** 自治体に対し、国土交通省から平成26年1月30日付で技能労働者の処遇改善、若年入職者増加に向けての要請がなされている。どのような対策をとってきたか。

**建設デザイン課長**

国の要請内容は、新労務単価の早期適用。インフレスライド条項の適用等。法定福利費の適切な支払いと社会保険等への加入徹底に関する指導等。適正な

価格による契約の促進である。すみやかに対応している。建設業団体にたいしても同様に技能労働者の適切な賃金水準の確保について要請がされており、町としても要請していく。

## 【再質問・一問一答】

**問** 要支援が町の地域支援事業に移行するが、国が示しているボランティアの立場で果たして対応が出来ると考えているのか。

**保健福祉課長**

地域資源やボランティア、NPO法人を活用するようにという改正にはなっているが、内子町にはそういった組織、団体が無いので、当面は今の事業所のままでサービスを行っていく。組織ができた段階で考える。

**問** 学童保育を行っていない小学校区の取組みは。

**保健福祉課長**

小田小学校区は、将来的には立川で行っている子ども教室を考えている。

**問** 指導員の待遇改善は。

**保健福祉課長**

児童クラブの指導員は、国の

基準で保育士等の資格を有する者が従事している。それを受けた国の補助金を確保している。

**問** 町内の業者によると、下請け単価は上がっていない。社会保険に入れる状態でないと思うがどうか。

**建設デザイン課長**

国の指導はあるが、小規模な業者は社会保険に入っていないところもある。町として要請していくが適正な入札の請負額など総合的に勘案していく。

**問** 技能労働者に対し国が示す労務賃金が支払われているのか。元請けに対する指導も重要ではないか。

**建設デザイン課長**

国をあげて行っており、一体となって町も取り組んでいく。

**問** 国は労務単価を2年続けて引き上げを行ったが、下請け業者は何ら変わっていないと思う。どう受け止めるか。

**町長**

町として国の基準に基づいて、浸透しているのかどうか関心を持って、きちんと見守る必要がある。

◆泉 浩壽 議員



【木材加工施設を作れ】

問 内子町の森林には優良材が豊富に残っており、地場産業発展のため、集成材、合板加工を併せ持った木材加工施設をつくる考えはないか。

産業振興課長

地元産材を利用し、生産・加工・販売の取組みをしている岡山県西粟倉村の事例が内子町で取り組めないか。木材加工施設も含めあらゆる方向から木材の有効活用を検討していく。

【リフォーム補助制度の創設を】

問 地域経済の活性化を図るため、町内業者を利用し個人住宅のリフォームを行う場合に、経費の一部を助成する考えは

ないか。

建設デザイン課長

木造住宅の耐震化を最重要課題とし、補助額を最大118万円に増額し耐震化の促進を行っている。また住環境整備促進事業としてトイレ、風呂、台所等の水廻りの改修やそれに伴う内装改修も補助対象としている。いずれも町内業者施工が条件となっているので、2つの事業を積極的に活用することで地域経済の活性化につながるものと考ええる。

【再質問・一問一答】

問 林野庁によると、森林が果たしている環境サービスを金額に直すと、内子町で毎年1921億円の価値があるといわれる。エコロジータウンを目指す町として若者の雇用促進、地元の木材を使うという意識を根付かせる意味から、木材加工施設の必要性は十分あると思うがどうか。

町長

木材の付加価値を高め流通させる仕組みを作ることは非常に大事である。小田地区学校施設で関係のある岡山県の企業が研究しているCLT(直交集成板)

は林野庁も注目している。町も林業家や製材所のみならず、関係団体、行政も入って、そういった勉強会、研究会を立ち上げ検討してはどうかと考えている。



町内産材による机や椅子(小田小中学校)

問 町内建築関係事業所の請負額は年々落ち込んでいる。今こそリフォームを行うきっかけとして補助制度を創り、最小の費用で最大の効果を発揮すべきではないか。

町長

今、急いでやるべきは耐震化の問題であり、業界の皆さんもぜひ一緒に盛り上げていただきたい。

◆大木 雄 議員



【石畳小の存続を望む】

問 石畳地区住民の意思として内子小学校へは統合せず、小規模ならではの教育メリットを伸ばすべきであるとし教育委員会へ報告書が提出されている。施設を含め今後の対応、対策はどうするのか。

町長

内子町教育改革懇談会では、子どもたちにとって一番良い教育環境はどうあるべきかという視点で協議され、答申を出されており、町長としてこれを尊重する立場にある。児童数9名で29年度には6名となる。耐震化など課題も多くなっており、早く統合への合意形成をしていたきたい。施設については老朽化部分の修繕は対応する。





石畳小学校

## 【6次産業化の推進】

問 6次産業化の具体的な計画は。

産業振興課長

旧内子町のころから高次元農業に取り組んでおり、現在では付加価値を付け、からりに出荷するとか、ブドウ園からワイン醸造、酪農からチーズ製造へと経営を多角化されている農業者も生まれている。町内の企業では国の助成制度を活用した事業にも取り組み、3分の2の補助を受け商品化を図っている。6次産業化を図りたい事業者に

対し、国等の助成制度の活用や情報提供など引き続き支援していく。

## 【再質問・一問一答】

問 小学校の教育では競争原理ではなく、少人数でも大人への成長をしていく基礎的な考え方、支え合う大切さ、感謝する気持ち、そういう教育をして将来の内子を支える人材の教育が必要と考える。子どもを増やすため親子留学方式を考えているが、借家の改修等の支援はできないか。

町長

学校は、社会に出るための準備をする所である。学力はもちろん、集団生活のなかでの人間関係、切磋琢磨しながら違った価値観も受け入れる。社会に出る登竜門だと位置づけている。学級活動やホームルーム活動においても石畳小学校では十分に機能していないと思う。早く統合に向けて合意形成してほしい。

問 地元住民が提出した報告書に対する返答は。今後の計画は。

教育長

自治会長、PTA会長連名で報告書を受けている。教育委員会としては26年4月には統合出来ないということで受取っている。引き続き統合に向け地元と話していくという姿勢でいる。

問 遊休荒廃農地の解消対策として農地を借り上げて農産物を栽培加工販売していく6次産業化を目指した場合、県の農地中間管理機構で調整してくれるのか。

産業振興課長

今年度から県に農地中間管理機構が設置され、貸手の農地を的確に担い手農家に届けて行く、規模拡大を図るという考えのもと設置されており、町においても6次産業につながっていくよう支援していく。

問 石畳のそばやワイン、どぶろく醸造で設備投資の際、地域密着型ビジネス創出助成事業で一度補助金を受けているが、再度6次産業化の支援を受けることができるか。

産業振興課長

違う内容のものにチャレンジする場合は申請可能。

◆菊地 幸雄 議員



## 【運転免許返納に支援を】

問 デマンドバス料金の割引、公共交通機関が利用できる乗車券の贈呈など、新たな支援をすることを考えはないか。

総務課長

町営バスは片道上限600円を500円に、さらに土曜日運行など利用しやすい運行に努めている。26年2月からの五十崎デマンドバスを250円に、福祉バスを500円から250円に変更している。内子地区のデマンドバスの整備具合を勘案して全体的に検討したい。

問 愛媛県料飲組合内山支部の飲食料金10割割引等の特典があるが、今後大洲警察署並びに係団体と協議し支援協力店を増やす考えはないか。

総務課長

大洲警察署と協議しながら協力店の理解が得られるところから検討していきたい。

## 【運動公園の改修と展望】

問 内子運動公園改修工事基本計画が策定され、26年度から実施設計がされるが、昨年6月、送水管の破裂によりプールが使用できなかった。その後の取組みは。

自治・学習課長

水圧9キロ圧で知清の水源地から駄馬池を経由し公園内の貯水池に送水していたが、6キロ圧で駄馬池までに送水している。今年度、駄馬池横の分岐点から貯水池へポンプアップするための中継用ポンプを設置した。7月12日オープン予定。



内子運動公園プール

問 野球場の記録員室等の劣化が進んでいる。何年度を目途に改修するのか。

自治・学習課長

改修の財源確保のため、国の社会資本整備総合交付金事業に取組んでいる。その採択を受けるため、都市公園施設等の長寿命化計画を作成している。多額の費用を要することから、平成30年度までの年次計画を作り改修事業に取組む。

## 【急げキウイ病対策】

問 キウイフルーツかいよう病に対する対策は。

産業振興課長

町内で11鉢栽培されているが、かいよう病は確認されていない。愛媛たいき農協に組合長を本部長として出荷者協議会、県、大洲市、内子町、関係団体からなる「JA愛媛たいきキウイフルーツかいよう病拡散防止対策協議会」を立ち上げ対策に取組んでいる。

対策の柱として防除の徹底を呼び掛け、内子町での薬剤散布費63万円のうち愛媛県と内子町が3分の1ずつを負担し、42万円を補助する予算を本議会に提案している。

## 【再質問・一問一答】

問 免許証自主返納者数は。

総務課長

23年22件、24年38件、25年37件、26年は1月からこれまで24件。

問 住基カードの無料交付を受けた方は。

住民課長

23年1月から26年3月までの間に80件。

問 料飲組合等の割引制度が利用でき、住基カードと同じ公的な身分証明書となる「運転経歴証明書」の発行手数料について助成する考えはないか。

総務課長

まだ検討はしていない。

問 五十崎デマンドバスの4月からの運行状況は。

総務課長

五十崎4路線で4月、5月の利用者は339人。

問 デマンドバスがない地域では、免許証返納者へのタクシー割引制度を取組むかどうか。

町長

返納者への利便性の向上は大切であると認識しており、残っている旧内子町分のデマンドバス運行に鋭意努力する。タクシー料金助成等は考えていない。

問 キウイフルーツかいよう病の風評被害、園地内の全伐採など、その後の生活の問題についてどう考えるか。

町長

非常に心配をしており、早期の終息を願っている。県の指導により防除、伐採の対応をしているが、生活の糧を切ってしまうことであるので、国、県の今後の対応を見守り町として対応していく。

## 議会傍聴のご案内

●定員  
30人（先着順）

※議会の開催日時など、詳しい内容は議会事務局へお問い合わせください。

【問い合わせ】

内子町議会事務局  
（内子分庁内）

☎0893（44）2115



## 子どもから大人まで読んでもらえる議会だより作りを目指して

7月10・11日の2日間、東京で開催された全国町村議会広報研修会に参加しました。

1日目は、「わかりやすい表現・標記のために」と題して佐竹秀雄氏（現代語研修室 室長）。「議会広報誌の編集 読まれる議会広報誌・読まれない議会広報誌」と題して西村良平氏（日本エディタースクール講師）。「写真の見方・考え方」と題して、神島美明氏（写真家）の3氏の講義を受けました。

2日目は、「議会広報クリニック」で第1分科会に参加し、吉村潔氏（エディター（株）メディアブレン代表）の講義を受けました。

## 委員会ニュース 研修報告 議会広報特別委員会

議会だよりを町民だれにも読んでもらう観点から、表紙の写真の撮り方、見出し・小見出しの使い方、文を短くする「箇条書きの精神」、次に何を述べるかを前もって知らせる書き方をする「予約の精神」など、それぞれの講師の方々から、ご助言をいただき大変勉強になりました。

今後この研修の成果を生かし、読みやすい紙面作り、議会だよりを目指します。

議会広報特別委員長 久保 美博



「わかりやすい表現・標記のために」講師 佐竹秀雄氏



第80回町村議会広報研修会

## 議会人事 決まる

◎委員長

○副委員長

### 総務文教常任委員会

財政、消防、選挙、教育、他の委員会に所管に属さない事項に関する事務について審査する委員会です。

|       |        |       |
|-------|--------|-------|
| 宮岡 徳男 | ◎中田 厚寛 | 山崎 正史 |
| 下野 安彦 | ○大木 雄  | 山上 芳子 |
| 菊地 幸雄 | 森永 和夫  |       |

### 産業建設厚生常任委員会

産業経済、土木、建築、水道、社会福祉、保健衛生に関する事務について審査する委員会です。

|        |      |       |
|--------|------|-------|
| 寺岡 保   | 林 博  | 才野 俊夫 |
| ◎池田 洋助 | 山本 徹 | ○泉 浩壽 |
| 久保 美博  |      |       |

### 議会運営委員会

議会の適正かつ円滑な運営を図るために設けられる委員会です。

|        |        |       |
|--------|--------|-------|
| ○中田 厚寛 | ◎山崎 正史 | 才野 俊夫 |
| 池田 洋助  | 大木 雄   | 泉 浩壽  |

※6月19日の6月定例議会において、3の常任委員会を2に集約し、委員会審査・調査等の活性化を図る為、6月20日より現体制になりました。

## 意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書  
(抜粋)

国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

肝硬変・肝がん患者は、毎日約120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

よって、国においては、下記事項を実現するよう強く要望する。

### 記

1 ウイルス性肝炎による肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を見直し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月20日

愛媛県内子町議会

# 万華鏡



撮影者：才野 俊夫



撮影者：菊地 幸雄

にぎやかな『内子夏まつり』商店街の軒下で巣立ち前の子ツバメ達を発見！！

内子夢ワインまつり、ヘリコプターで初めて空から我が町を眺めれば・・・・・・我が家はどこ？

## 編集後記

広報委員会の全委員で「広報誌作り」研修会に参加しました。さっそく学んだことをこの号から生かしました。

まだまだ未熟ですが、これから一丸となって、町民の皆様方に愛読してもらえるような紙面作りに努力してまいります。

(山本 徹)

### ●議会広報特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 久保 美博 |
| 副委員長 | 菊地 幸雄 |
| 委員   | 山崎 正史 |
| 委員   | 才野 俊夫 |
| 委員   | 山本 徹  |

### 表紙の写真

撮影：下野 安彦  
題目：涼を求めて  
暑い夏がそこまで来ています。  
ひまわりを目立たさずに  
小田川龍宮堰の涼しさを表現しました。